


たどつ

社協

だより

 多度津町の福祉情報をお届けします

2021年7月21日発行

No.75



イメージキャラクター
たどつちゃん



3月16日

地域支え合い活動運転ボランティア
養成講座を開催しました



23名の30代～70代の幅広い年齢の方が、移動サービスを
住民主体で行うことの意義、安全運転に向けた危機管理、
利用者さんへの心配りなど実技を交えて学びました。

フォローしてね♡ /



フェイス
ブック



インスタ
グラム



TASYAHYO_8581



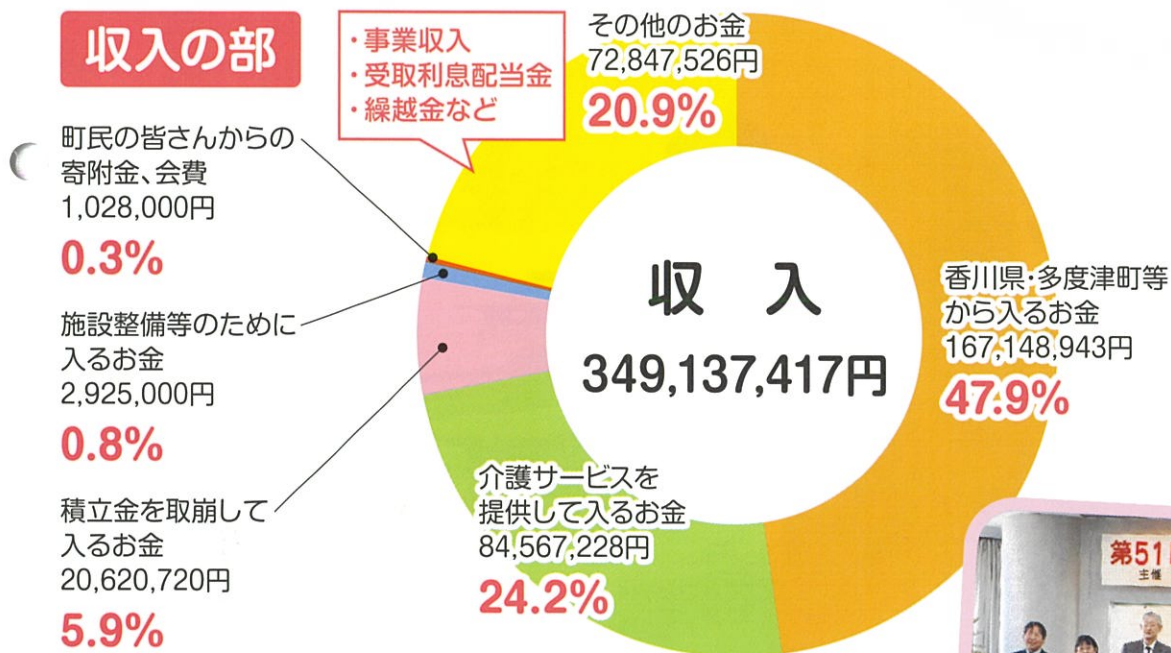
令和2年度 事業報告及び決算報告

事業報告

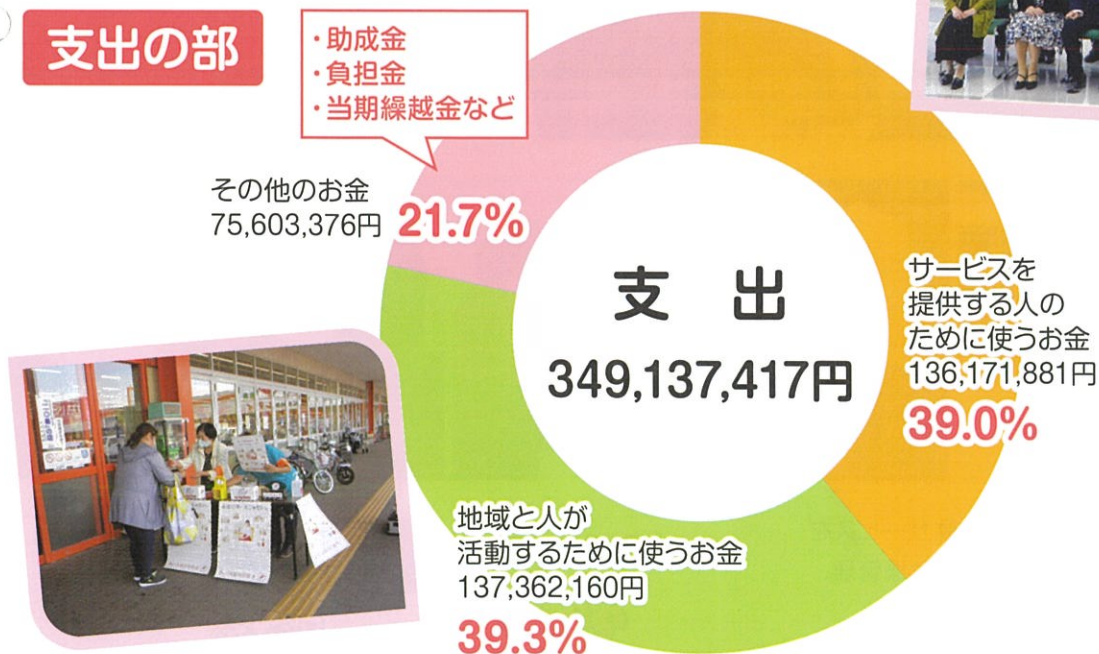
令和2年度は、コロナ禍でも継続的かつ安全に地域福祉活動を推進するために、感染防止対策を徹底し、施設運営、各種教室の開催、介護事業を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した方への生活福祉資金貸付業務を行いました。

また、子どものために使用してほしいと目的を設定された寄附金と社協会費をもとに多度津町社会福祉協議会独自の「学校用品リユース事業」を開始したり、より地域と寄り添う社協を目指して地区担当制を継続的・精力的に実施するなど、誰もが安心して暮らせる福祉で町づくりに努めました。

収入の部



支出の部



ご寄附のお願い

「社会のために役立つことをしたい」という温かい善意の気持ちで寄せられた金銭をお受けし、様々な社会福祉事業に活用させていただいています。

寄附金は、ご寄附くださる方のご意思で使い道を指定することもできます。

※確定申告の際に社会福祉協議会からの領収書が必要となりますので大切に保管してください。

善意の寄附

多度津町社会福祉協議会に温かいご寄附をいただきました。社会福祉に対する深いご理解とご厚志に対し感謝申し上げます。(令和3年2月から令和3年5月末)

一般寄附

- ・「小さな親切」運動多度津町支部
- ・森 彌生 (順不同・敬称略)

社協会員加入のお願い

人の輪で つなぎ 育み 支え合う

社協会員制とは、多度津町社会福祉協議会が行う活動や事業に対してご賛同を得て、そのお気持ちを「会費」という形でご協力いただいている制度です。

多度津町の福祉のために何か協力したい! そのお気持ちを「社協会員」として会費を納めていただくことで地域福祉活動に参加することができます。

個人会員	団体会費	賛助会費
一口 500円	一口 1,000円	一口 3,000円以上

社協会員にご加入くださった方に「たどっくちゃんグッズ」をプレゼントしています。
500円で1つ 1,000円以上で2つ



「多度津町の福祉のために協力したい!」
「子どものために使ってほしい!」
皆様からの寄附金と社協会費をもとに
新事業「学校用品リユース事業」が開始しました。

無料貸出中!

多度津町社協は、物を大切に作る心を育み、子育て世帯を応援しています!



裁縫道具・習字セット等



町内小・中学校制服



カバン・帽子等



体操服

利用できる方

- 多度津町にお住いの方でお子様が多度津町内の学校に通っている方
- 多度津町社会福祉協議会 会員の方(会員には当日加入できます)

持ってくるもの

- 社協会員 会員証(利用年度のもの)
- 印鑑
- ご住所、お子様の年齢が確認できるもの

受付場所・時間

- 多度津町社会福祉協議会 事務局 午前8時30分～午後5時00分(平日のみ)

※ご寄附いただける学校用品の受付も継続中です。卒業後概ね5年以内のものに限ります。

※ランドセルのご寄附は一時停止しております。

使用しなくなった学校用品を回収して、必要としている児童・生徒に無料でお貸ししています。



これからも、より皆様のニーズに対応した事業を展開してまいりたいと思いますので、温かいご寄附、会費を心よりお待ちしております。

寄附・会費は

- 多度津町社会福祉協議会 事務局 (多度津町民健康センター2階)
- 多度津町地域包括支援センター (多度津町総合福祉センター1階) で受付けております。



高

介護が必要な度合い

低

要介護度

要介護5

要介護4

要介護3

要介護2

要介護1

要支援2

要支援1

65歳以上の
多度津町民



イチオシ教室です!
一人ひとりに効果が
出ています。

参加無料

元気なうちから始めよう 健康づくり・介護予防教室

多度津町にお住いの65歳以上の方ならどなたでも参加できる教室です。

すまいるライフ教室(コンディショニング)

12回コース 毎月入会できます
日時:毎週火曜日 13:30~15:30

参加者の方からのコメント

- ・家では、猫が相手だが、いろんな人と話
ができ楽しい。
- ・教室に通うようになり、いきいきしてきた。
- ・自分のその時の身体の痛い部分を知ること
ができた。
- ・椅子に座って、楽々できるのがいい。
- ・身体をさするだけで、行方前とした後では、
身体の動きやすさが全然違う。
- ・膝や足の筋肉が硬いことにびっくりした。
- ・勉強になる。
- ・参加してよかった。



杉浦ひろみ先生



さくら倶楽部(シナプソロジー)

次回 9/27~12/20 12回コース
日時:毎週月曜日 13:30~15:00

参加者の方からのコメント

- ◆ 参加したきっかけ ◆
 - ・ 広報をみて脳トレが入っているのを知って
 - ・ 認知症予防
 - ・ 足の筋力がなくなっているの
- ◆ 行動の変化 ◆
 - ・ バランスの良い食事をとるようになった
 - ・ 睡眠や運動を意識するようになった
 - ・ ひとり住まいなので、
ここにきて気持ちが明るくなった
- ◆ 参加してよかったこと ◆
 - ・ 指の運動、グループ運動が面白かった
 - ・ 気持ちが明るくなった
 - ・ 睡眠のとり方を知ること



たくまシーマックス
道久・塩見コーチ



輝楽めき人生講座は 11 月に延期になりました。

介護サービス 利用の流れ

生活する上でなにか困ることが出てきたら、介護保険サービスの利用を検討しましょう。必要な支援の度合いによって、利用できるサービスは異なります。

相談する

町役場の窓口で、相談の目的を伝えます。
希望するサービスがあればその旨を伝えます。

要介護認定を 受ける

認定



要介護1～5の方

在宅でサービスを利用したい

1 居宅介護支援事業者に連絡

- ・居宅介護支援事業者（ケアマネジャーを配置している事業者）を選び、連絡をする。
- ・担当のケアマネジャーが決まります。

2 ケアプランの作成

- ・利用者の現状を把握。
- ・サービス事業者との話し合い。
- ・ケアプランの作成。

3 サービス事業者と契約

- ・訪問介護や訪問看護などを行うサービス事業者と契約します。

4 在宅サービスを利用



要支援1～2の方

できる限り自立して生活することを目的としてサービスを利用するために、地域包括支援センターの職員と介護予防ケアプランを作成しサービスを利用します。



施設に入所したい

1 介護保険施設と契約

- ・入所を希望する施設に直接申し込む。

2 ケアプランの作成

- ・入所した施設でケアマネジャーが利用者に合ったケアプランを作成します。

3 施設サービスを利用



生活支援コーディネーターだより Vol.1

たどつ支え合い笑顔の会 (第1層協議体)と 「移動サービス チョイ来た」

皆さんこんにちは。多度津町社会福祉協議会
地域福祉課の尾崎と申します。昨年の10月
より、第1層生活支援コーディネーターとして
協議体の皆様と活動しています。これから
いろいろと情報をお届けしていきたいと思
いますので、よろしくお祈りします。今回は、
協議体についてです。

協議体って何？

地域課題を考え、地域資源を創り出す
住民同士の定期的な話し合いの場。責任者
は決めず、地域の井戸端会議的な自由な
発言のできる場です。

多度津町には町全体についてを話し合う
第1層協議体と、地区ごとの場である、**第2
層協議体**があります。この「協議体」と地域
の調整役である「生活支援コーディネーター」
が、住民主体のサービスが活性化される
よう、地域の方々とともに進めていきます。



コロナ禍の中、令和2年度は各地区の協議体を開催することが難しかったのですが、地域課題の解決は“待たなし”です。そのため、上の図のように第1層協議体として集まり、各地区で共通してあがった「**移動の問題**」について話し合いをしました。一人暮らしや高齢者世帯で、免許証返納後に買い物や通院などの移動に困る方が増えていますし、高齢になると停留所までの移動が必要なバスよりも「ドア・ツー・ドア」の希望が高くなります。

最初は、この「地域課題」の大きさに、自分たちに何ができるのかと不安だらけでしたが、すでに住民が自ら移動サービスを立ち上げて活動している「丸亀市岡田地区」へ見学に行ったことにより、自分たちにもできるかもしれないというイメージを持つことができました。また高齢者保険課からも、「住民主体のサービスを支援するために」と車のリース代等を出して貰えることとなり、**住民ボランティアで運営する「移動サービス チョイ来た」**を立ち上げようと前向きに話をすすめています。



ボランティア活動は、無理をすると続かないものです。できることから始めて、仲間（担い手）を増やし、内容の充実を図っていければと思います。

「移動サービス チョイ来た」の詳しい内容については、配布チラシをご覧ください。電話での予約受付が主な内容の**受付ボランティアも募集**しております。

ボランティアに興味のある方は32-8501までご連絡ください。



多度津校区放課後児童クラブ

春休み中の3月末。さぬきこどもの国より「遊びの宅配便」の方が来てくれました。テーマは『すごいぞ！風のちから』何が始まるんだろうとドキドキわくわくしながら、サイエンスショーが始まりました。身近なものを風で動かす実験。「どうなるんだろう？」と想像しながらスタート。「すごい！」「おもしろい」「あれ～変わらない」など様々な変化に大興奮。

その後、工作に挑戦。プラスチックコップと輪ゴムを使って飛ばす玩具を作りました。友達と協力してテープを貼ったり、ゴムを付けたり。最初は飛ばなくて難しかったけれど、みんなで教えてコツをつかんだら遠くに飛んで大喜び。学年関係なく、助け合いながら仲良く取り組むことができ、とても楽しい時間を過ごしました。4月からは新1年生も加わって、とっても賑やかで元気いっぱいです。



令和3年4月より、
児童館の名称が**放課後児童クラブ**に変わりました

- 多度津地区児童館 ⇒ 多度津校区放課後児童クラブ
- 豊原地区児童館 ⇒ 豊原校区放課後児童クラブ
- 四箇地区児童館 ⇒ 四箇校区放課後児童クラブ
- 白方地区児童館 ⇒ 白方校区放課後児童クラブ



多度津ボランティア協議会 活動報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、施設への訪問もできず、様々なイベントも中止となり、例年のようなボランティア活動が出来ていませんでしたが、このようなコロナ禍でも、つながりを絶やさないように、何か自分たちにできることはないかを話し合い、多度津デイサービスの利用者が使用する巾着袋の作成を行いました。3日間で30名のボランティアが参加し、約100枚の巾着袋が完成し、桃陵苑へ贈らせていただきました。

まだまだ続くコロナ禍ですが、今後も「今できること」を考え、みんなで取り組んでいきたいと思っています。



捨てるのもったいないなあ… そんな眠っている食品はありませんか？

フードバンクにご協力ください

規格外製品や消費・賞味期限が近づいていることなどによって廃棄される商品を受け取り、食べ物を必要としている方や世帯を支援しています。

- 穀類（お米、麺類、小麦粉等）
- 保存食品（缶詰、瓶詰等）
- インスタント食品、レトルト食品
- 調味料各種、食用油
- 野菜 等



いただいたけど、こんなに食べきれないわ…



パッケージが壊れてるだけなんだけど…

注意事項

- 1 賞味期限が明記されているもの
- 2 賞味期限が一月以上あるもの
- 3 未開封であるもの
- 4 破損で中身が出ていないもの
- 5 お米、野菜は常識の範囲内で古くないもの

多度津

車いす体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験

多度津校区放課後児童クラブ・四つ葉クラブの児童を対象に福祉体験を実施しました。一人ひとりに高齢者や障がい者の気持ちを体験してもらい、どのように誘導したら不安を減らせるなどを学びました。これからも福祉教育を通して、人にやさしい子どもたちに育っていききっかけづくりに取り組んでいきます。



感想

- 車いすでは、曲ったりだんさをのりこえたりするのはむずかしかった。アイマスクではぜんぜん何も見えなかったのどこを歩いているのかわからなくて説明する側もむずかしかったです。
- 手を動かさにくかったら、持ちにくいし、食べ物も食べにくいと思いました。
- こまっている人がいたら助けたいです。
- 大人になってもこのことをおぼえておこうと思います。

豊原

「花さくあいさつ運動」を開始しています。これは、通学路のご家庭に協力していただき、水やりをしながら、花の手入れをしながらなど何かをしながら、登下校時の子どもと挨拶を交わし、見守りをしてもらいましょうという活動です。毎日、挨拶を交わすことで、顔見知りになり、大人から子ども、子どもから大人への相互の見守りが行えます。

この課題は、地域福祉活動計画の座談会で出された豊原地区の課題です。地域の課題を地区担当が地域とともに解決することを目指しています。



四箇

福祉教育～認知症サポーター養成講座～ 開催 3/26

認知症は、年を重ねると誰でもなりうる病気です。子どもたちには正しい知識と接し方を早い段階で習得してもらい、地域で暮らす認知症の方の理解者になることを目的としています。子どもたちも熱心に講座に参加してくれ、普段とは違う一面もみることができて良かったです。

感想

- 認知症の人とのせし方で「目を見て話す」「ゆっくり」「やさしいことばで」ということが分かりました。
- 私にもんちしょうサポーターになりたいと思いました。
- 今日まなんだことを家ぞくにつたえたいと思います。



白方・高見・佐柳

白方・高見・佐柳地区での行事・イベント・サロン等に参加し、地域の方々と交流を図っています。地域の方からは、「また来てほしい」「手伝ってくれてありがとう」「こっこのサロンにもおいで」と嬉しい言葉をいただきました。今年度も白方・高見・佐柳地区の活動にたくさん参加したいと思っています。一緒に白方・高見・佐柳地区を盛り上げていきましょう!是非お声がけください!!



～多度津町共同募金委員会からのお知らせ～
今年も赤い羽根共同募金運動にご協力をお願いします!

赤い羽根共同募金



今年度も10月から全国一斉に「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに、赤い羽根共同募金運動がスタートします。近年、コロナウイルス感染症の影響もあり、共同募金を取り巻く社会・経済環境はめまぐるしく変化し、特に少子高齢化による人口減少社会が進む中、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができるよう地域福祉の一層の充実がもとめられています。

皆さまから寄せられた募金は、地域の笑顔を増やすために活用されます。ご協力をよろしくお願いいたします。

